

第33回加藤記念研究助成受領者 メディカルサイエンス分野（20名）

No.	氏名	所属	役職名	研究題目
1	遠藤 裕介	かずさDNA研究所 先端研究開発部 オミックス医科学研究室	室長	免疫エピゲノム編集による肺疾患をターゲットとした次世代型治療法の開発
2	門松 毅	熊本大学大学院生命科学研究部 分子遺伝学講座	講師	がん免疫逃避に寄与する新規分子基盤の解明
3	川岸 裕幸	信州大学先鋭領域融合研究群 バイオメディカル研究所 バイオテクノロジー部門	助教	心筋細胞アンジオテンシンAT1受容体の新たな生理作用による新生児・乳児心不全治療薬の創出
4	木下 英幸	千葉県がんセンター 整形外科附属研究所	医長	軟部肉腫の腫瘍進展におけるレドックス制御の分子機序解明および新規治療薬の探索
5	國本 博義	横浜市立大学医学部 血液・免疫・感染症内科	助教	高リスク白血病の造血幹細胞移植後再発克服を目指した新規治療戦略基盤の構築
6	小林 俊寛	東京大学医科学研究所 再生発生学分野	特任 准教授	異種生殖細胞間の競合現象から解き明かす細胞の生存戦略
7	高井 淳	東北医科薬科大学 医学部医化学教室	助教	次世代炎症イメージング技術とエピゲノム制御転写因子解析を基盤とした炎症惹起機構の解明
8	富樫 庸介	岡山大学学術研究院 医歯薬学域 腫瘍微小環境学分野	教授	腫瘍微小環境におけるミトコンドリア相互作用の抗腫瘍免疫応答への影響の解明
9	豊永 憲司	福岡歯科大学 機能生物化学講座 感染生物学分野	助教	免疫アダプター分子を介した生体防御機構の解明
10	仲田 浩規	金沢大学医薬保健研究域 医学系 組織細胞学	講師	三次元解析を用いた精子形成障害メカニズムの解明
11	長町 安希子	広島大学原爆放射線医科学研究所 附属放射線先端医学実験施設	助教	骨髄異形成症候群の病因となるサイトカイン・クロストークの解明
12	長谷川 恵美	筑波大学医学医療系 分子行動生理学	助教	REM睡眠ゲーティングに関わる扁桃体内ドーパミンシグナルの役割の解明
13	畠 星治	東京大学大学院薬学系研究科 生理化学教室	特任講師	タイムリーな紡錘体形成が保証する正確な染色体分配機構の解明
14	平林 茂樹	九州大学大学院医学研究院 プレジジョン医療学分野	特任助教 ／学術研究員	家族性骨髄系腫瘍の遺伝子発現制御機構とその発症機序の解明
15	前田 深春	秋田大学大学院医学系研究科 情報制御学・実験治療学講座	助教	小胞体出芽部位(ERES)による分泌制御機構の解明
16	松崎 芙美子	九州大学生体防御医学研究所 統合オミクス分野	助教	インスリンが誘導する多階層分子ネットワークの臓器間比較
17	水野 秀信	熊本大学国際先端医学研究機構 多次元生体イメージング研究室	特任 准教授	神経活動の誘導による脳回路形成の再建

No.	氏名	所属	役職名	研究題目
18	向山 順子	神戸大学医学部大学院 食道胃腸外科学分野	医学 研究員	腸管免疫の慢性賦活化による大腸癌の発癌 機構の解明と最適化治療の確立
19	森本 和志	九州大学大学院薬学研究院 生命物理化学分野	助教	酸化脂質によるプロスタグランジン受容体 活性化
20	山口 啓史	東京医科歯科大学難治疾患研究所 病態細胞生物学	助教	新規オートファジー変調による神経変性疾 患の病態メカニズム解明、創薬開発研究

バイオサイエンス分野（8名）

No.	氏名	所属	役職名	研究題目
1	神田 真司	東京大学大気海洋研究所 海洋生命科学部門	准教授	魚の脳下垂体で働くオプシンを用いた神 経・内分泌細胞操作
2	金 尚宏	名古屋大学トランスフォーマティ ブ生命分子研究所 動物統合生理学	特任講師	生命共通の体内時計の原理解明とミトコン ドリアCa ²⁺ 制御化合物の開発
3	高橋 大輔	埼玉大学大学院理工学研究科 生命科学部門	助教	細胞壁の分子構造と凍結挙動の関係から探 る植物の凍結傷害低減機構の解明
4	竹田 弘法	理化学研究所 生命機能科学研究センター 白水チーム	基礎科学 特別研究 員	ミトコンドリア外膜におけるSAM複合体の 基質依存的なタンパク質挿入メカニズムの 解明
5	西村 浩平	名古屋大学大学院理学研究科 生命理学専攻	助教	内在性タンパク質を標的とした超高感度 オーキシン依存的タンパク質分解系の開発
6	煉谷 裕太郎	宇都宮大学農学部生物資源科学科 植物病理学研究室	助教	チューリップ条斑ウイルスの病徴誘導メカ ニズムの解明
7	松本 俊介	九州大学大学院 農学研究院 生命機能科学部門 生物機能分子 化学講座 生物化学分野	テニユア トラック 助教	新規CRISPR/Casシステムの機能構造解析 とゲノム編集ツール開発
8	山岸 洋	筑波大学数理物質系 物質工学域	助教	水中微小レーザー発振子を用いたin situ生 分解反応測定の開拓

環境バイオ分野（3名）

No.	氏名	所属	役職名	研究題目
1	徐 寿明	龍谷大学先端理工学部 生物多様性科学研究センター	客員 研究員	魚類群集の定量的な評価に向けた環境DNA ショットガンシーケンシング技術の開発
2	鈴木 一輝	新潟大学研究推進機構 超域学術院	助教	水田細菌叢制御を目指した菌叢形成の支配 的因子の特定
3	藤田 雅也	高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 構造生物学研究センター	日本学術 振興会 特別研究 員PD	植物バイオマスからの効率的な有価物生産 に向けた改変細菌内膜トランスポーターの 作出